

2017年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修 実践編（災害看護） 報告

開催日時 2017年9月2日（土）13時～16時

会場 佛教大学二条キャンパス

主催 災害支援検討委員会

参加者数 17名（会員16名 非会員1名）

運営スタッフ 委員：6名

テーマ 災害時の避難所における認知症高齢者のケア

内容 講義：大規模自然災害時の高齢者ケア

災害時の認知症ケアの基本：認知症の人とのコミュニケーション

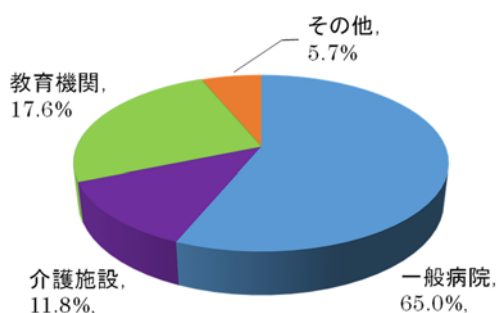
ワークショップ：ロールプレイから学ぶ「避難所での認知症高齢者と家族への対応」



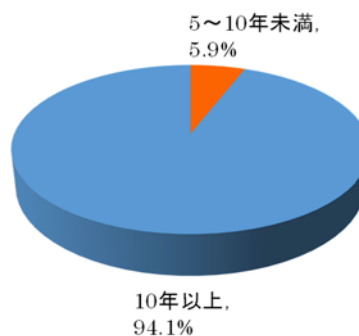
アンケート結果（回収数14）

1. 参加者の概要および研修設定に対する意見

1) 現在の勤務先



2) 看護師経験年数（教員の場合は教員経験年数）



3) 今回の研修を何で知ったか（複数回答）

学会HP（8）、学会メール（4）、ニュースレター（2）、ポスター（1）、同僚の紹介（1）、ポスター（1）、学会関係者の紹介・FAX（1）

4) 開催時期について

良い（16）、どちらともいえない（1）

5) 開催場所

良い（15）、悪い（2）理由：不便、九州は災害が多いので九州で開催してほしい

6) 開催時間

良い（16）、未記入（1）

7) 受講動機について（複数回答）

テーマに関心があった（16）、知識や技術を身につけたかった（7）、老年看護の実践的な内容を学び

たかった (2)、講師に関心があった (2)、知人の勧め (1)、会場がアクセスしやすかった (1)、参加費が安かった (1)、その他 (2) : 災害が身近だから、学び直したかったから

8) 会費について
ちょうど良い (17)

2. 研修会の内容について

1) テーマについて

非常に興味がある 16 (94.1%)、まあ興味がある 1 (5.9%)

2) 研修会は期待通りであったか

期待通り 15 (88.2%)、まあ期待通り 2 (11.8%)

3) 老年看護における看護師の生涯学習支援について

非常に必要 15 (100%)、まあ必要 2 (11.8%)

4) 今後も本学会の研修会に参加したいか

とても参加したい 13 (76.5%)、まあ参加したい 4 (23.5%)

5) 今後研修会として取り上げてほしいテーマ、老年看護学会への要望

○災害関連

- ・今回同様の研修、災害支援、今回のフォローアップ等の研修を期待している。
- ・避難所の場面だけではなく、病院などいろいろな場面を想定した研修も行えるとよい。
- ・コミュニケーションの実践面、技術面の研修会も行ってほしい。
- ・在宅における連携について学びたい。

6) その他、自由意見

- ・認知症者とその家族両者へのアプローチについても方向性が見えた。
- ・ロールプレイを通して、実践として振り返ることができ、その重要性和楽しさを学んだ。



今年度で 4 回目の生涯学習支援研修実践編（災害看護）を開催しました。前回同様、災害時の認知症ケアを題材に、前半は講義として「大規模自然災害時の高齢者ケア」（松岡委員）と「災害時の認知症ケアの基本：認知症の人とのコミュニケーション」（六角委員）を行いました。後半は、ワークショップとして、参加者に避難所での認知症高齢者・家族の事例映像を視聴してもらい、講義を踏まえて災害支援ナースとしてどのように対応するかをグループで話し合い、話し合ったことをロールプレイで実践してもらいました。参加者の方々には概ね満足していただける研修となりました。今後も災害研修を継続的に実施していきたいと考えます。

（災害支援検討委員会 生涯学習支援研修 実践編担当）